

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	311	施策	生きがいづくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

1	所管 室課	福祉総務室	事業名	高齢者生きがい対策事業		
事業概要						
ふれあい昼食会事業補助						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
地区福祉委員会が年4回を超えて実施したふれあい昼食会の一部に対して、(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成するふれあい昼食会事業補助事業については、感染症拡大防止対策を講じながら手法を工夫し、「ふれあい外出配食」として引き続き実施した。 ・参加人数3,622人(令和4年度:4,708人)		決算額 (千円)	1,520	3,521	2,625	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	94.7	90.3	67.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ■ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		令和5年度は、感染症対策は緩和されたものの、参加者数は減少した。本事業を通じ、一人暮らし高齢者の閉じこもり予防や地域住民との交流によりコミュニケーションを図るきっかけとなっているが、参加者数の減少やスタッフの高齢化による担い手確保に課題を抱えている地域もある。今後は、地域の特性に応じた事業実施となるよう高齢者に限定したのではなく、地域のつながりづくりを目的として行う小地域ネットワーク活動に補助金を交付している事業への統合を、吹田市社会福祉協議会が検討しているため見直しが必要。				拡充・縮小 ・小地域ネットワーク活動に対する補助金へ統合

2	所管 室課	高齢福祉室	事業名	シルバーワークプラザ管理事業			
事業概要							
シルバーワークプラザ管理、シルバー人材センター補助							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
シルバーワークプラザの管理運営とともに、高齢者の就業機会の増大等の推進を目的に、生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対し、臨時的・短期的な仕事を提供するシルバー人材センターへの補助を実施。 ・シルバー人材センター会員数：1,983人（令和6年3月31日現在）			決算額 (千円)	18,426	19,414	51,677	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			当該団体の事業が高齢者の就業・社会参加の促進、生きがいの充実、市の施策に寄与しているため、市として補助を行う。 第8期吹田健やか年輪プランでは、令和5年度のシルバー人材センターの会員目標数を2,513人としていたが、実際の会員数は1,983人であり、目標に達していない。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

3	所管 室課	高齢福祉室	事業名	ふれあい交流サロン補助事業			
事業概要							
ふれあい交流サロン補助							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団体に補助金を交付した。 ・ふれあい交流サロン事業運営団体数：12団体 ・延べ利用者数：41,193人（うち介護予防取組利用者：8,519人）			決算額 (千円)	2,427	3,897	4,350	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			高齢者から乳幼児までの市民が気軽に利用することで世代間交流の場となり、高齢者が集う場として閉じこもり対策に寄与している。 設置目標数の12箇所については達成しているが、事務負担が増大している。				
				継続			

4	所管 室課	高齢福祉室	事業名	敬老事業			
事業概要							
地区敬老行事開催、長寿祝賀							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 地区敬老行事開催 ・75歳以上の高齢者を対象に、地区敬老行事を開催する各地区敬老行事運営委員会に対し補助金を交付した。 補助金交付団体数：28団体 参加者数：36,310人 (2) 長寿祝賀 ・令和5年9月1日現在で市内に居住する令和5年4月～令和6年3月に100歳となる高齢者に祝金及び祝状を贈呈した。 祝金贈呈者数：117人 ・本市に居住する当該年中に結婚50年を迎える夫婦（金婚夫婦）に祝状を贈呈。 祝状贈呈組数：115組			決算額 (千円)	41,833	45,179	49,324	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			当該事業の対象者数は今後も増大し、それに伴い事業費が拡大していく見込みである。長寿祝賀については、令和3年度から対象者を100歳の方のみとし、寿祝品贈呈と統合し再構築を行ったが、地区敬老行事開催については、対象者が年々増加していることなどにより運営団体の負担が増加している。今後、社会情勢に見合った事業の見直しを進めていく必要がある。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

5	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いきいの家管理事業			
事業概要							
高齢者いきいの家管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
高齢者の相互交流と社会参加を促進するとともに、福祉の増進を図るために設置している当該施設の管理運営を実施。令和2年度より指定管理者制度を導入。 ・ 決算額内訳 合計 19,586千円 委託料 16,186千円 需用費 2,700千円 その他 700千円 ・ 延べ利用者数：12,156人			決算額 (千円)	16,828	33,502	19,586	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	64.5	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			令和3年度の第三者モニタリングにおける指摘をきっかけに、施設の認知度が低いことが、利用者数の少ない原因と考え、引き続き積極的なチラシ配布等を行ったところ、令和5年度の延べ利用者数は、市直営時を上回る結果となった（平成30年度比2,478人増）。今後も、施設の認知度を上げる更なる取組を実施し、広域的な利用者数の増加に努める。			今後の実施計画 の方向性・内容	
			継続				

6	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者いきいの間管理事業		
事業概要						
高齢者いきいの間管理						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
令和5年度利用状況 ・新型コロナウイルス感染症の影響で利用を控える傾向が残ったことで、利用状況は令和4年度から少し増えて、35館合計の利用人数42,966人、1館当たり1,228人、35館合計の稼働日数4,479日、1館当たり128日、1日に10人利用となった。		決算額 (千円)	11,686	5,121	5,651	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
		維持管理については、施設の経年劣化が激しく、適宜修繕を行っており、修繕等の維持管理費が一定額必要となっている。 また、施設は和室や段差が多く、バリアフリーの観点から、大規模修繕や建て替え時に、洋室化や段差解消等を実施する必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

7	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい活動センター管理事業			
事業概要							
高齢者生きがい活動センター管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
高齢者の相互交流と教養向上を促進するとともに、生きがいづくりの拠点として設置している当該施設の管理運営を、指定管理者制度により実施。 ・ 決算額内訳 合計 13,478千円 報酬 84千円 通信運搬費 384千円 委託料 13,010千円 ・ 延べ利用者数：45,673人			決算額 (千円)	12,024	13,235	13,478	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	■ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			第8期吹田健やか年輪プランでは、令和5年度の高齢者生きがい活動センターの利用者目標数を54,566人としていたが、実際の利用者数は45,673人であり、目標に達していない。 引き続き講座内容や広報の見直し等を実施し、利用者数の増加に努める。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

8	所管 室課	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい対策事業		
事業概要						
高齢クラブ活動補助、高齢者友愛訪問、在日外国人高齢者給付金支給、いきがい教室開催、高齢者団体用福祉バス貸付						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 高齢者団体用福祉バス貸付 対象となる高齢者団体に対して福祉バスの貸付を行った。貸付台数：118台 利用者数：4,355人 (2) 高齢クラブ活動補助金 高齢クラブ数177クラブ、会員数10,155人に対して、高齢クラブ会員数50人以上のクラブに年額57,600円、30人以上49人以下のクラブに34,560円、吹田市高齢クラブ連合会に1,146,480円を交付した。 (3) 高齢者友愛訪問 寝たきり又はひとり暮らしで適切な助言や連絡を必要とする75歳以上の高齢者、適切な助言や連絡を必要とする75歳以上の高齢者世帯、及び65歳から74歳までの寝たきりやひとり暮らしで声かけや見守りが必要な高齢者を訪問・激励する事業を受託した吹田市高齢クラブ連合会に対して、5,997,200円の委託料を支払った。訪問対象件数：寝たきり高齢者19人、独居高齢者2,807人、高齢世帯1,013世帯、その他9人で合計3,848件 (4) いきがい教室開催 60歳以上の者を対象に1回2時間程度の教養講座を20科目開催し、高齢者の生きがいづくりの充実を支援した。延べ受講者数：4,840人 (5) 在日外国人高齢者給付金支給 大正15年4月1日以前生まれの支給対象者に対して月額1万円を支給した。支給対象者：3名		決算額 (千円)	25,785	31,871	34,238	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	82.4	85.1	86.1	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		(2) 高齢者の地縁組織である高齢クラブは、超高齢社会の地域のコミュニティ・見守り隊・外出支援の担い手・介護予防の推進活動隊として、果たす役割はますます重要となっていくと推察される。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が残っており活動が十分にできずに新たな会員加入に向けた取組が困難だったことから、会員数の減少傾向、高齢クラブの解散につながる状況にある。 (3) 今後、高齢者人口に比例し訪問対象者の増加が見込まれるが高齢クラブの会員数が減少し会員の高齢化が進んでおり担い手の不足が懸念される。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	311	施策	生きがいくりと社会参加の促進
管理事業	高齢者生きがい事業	所管部局	福祉部

9	所管 室課	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（高齢者生きがい活動センター）				
事業概要								
千里ニュータウンプラザ施設管理								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
高齢者生きがい活動センターを有する千里ニュータウンプラザの施設管理。 ・決算額内訳 合計 32,690千円 管理運営に係るサービス購入料（設計建設） 19,564千円 管理運営に係るサービス購入料（維持管理） 10,351千円 管理運営に係るサービス購入料（修繕） 577千円 光熱水費 2,198千円			決算額 (千円)	36,267	32,695	32,690	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

10	所管 室課	高齢福祉室	事業名	吹三地区高齢者いこいの間整備事業				
事業概要								
吹三地区高齢者いこいの間整備								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
吹三地区高齢者いこいの間と複合化するための吹三地区公民館建築工事。 ・決算額内訳 合計8,409千円 委託料 1,720千円 工事請負費 6,592千円 補償、補填及び賠償金 97千円			決算額 (千円)	0	1,638	8,409	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	0.0	14.2	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容	
							廃止	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名